

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2019-191005
(P2019-191005A)

(43) 公開日 令和1年10月31日(2019. 10. 31)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
GO 1 N 31/00 (2006. 01)	GO 1 N 31/00 V	2GO 4 1
GO 1 N 21/73 (2006. 01)	GO 1 N 21/73	2GO 4 2
GO 1 N 27/62 (2006. 01)	GO 1 N 27/62 V	2GO 4 3
GO 1 N 21/31 (2006. 01)	GO 1 N 21/31 6 1 O A	2GO 5 9

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 18 頁)

(21) 出願番号 特願2018-84430 (P2018-84430)
(22) 出願日 平成30年4月25日 (2018. 4. 25)

(71) 出願人 598015084
学校法人福岡大学
福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
(74) 代理人 100099508
弁理士 加藤 久
(74) 代理人 100182567
弁理士 遠坂 啓太
(74) 代理人 100197642
弁理士 南瀬 透
(72) 発明者 樋口 壯太郎
福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号
学校法人福岡大学内
(72) 発明者 内田 正信
福岡県北九州市小倉南区下曾根3丁目19番31号 株式会社GEラボアナリス内
最終頁に続く

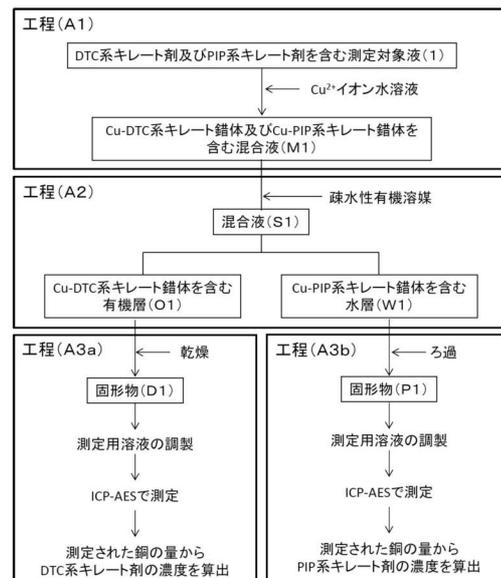
(54) 【発明の名称】 キレート剤の測定方法

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 測定対象液に含まれるジチオカルバミン酸系キレート剤及び/又はピペラジン系キレート剤の濃度を低濃度まで精度よく測定できる測定方法を提供する。

【解決手段】 測定対象液とCu²⁺イオンとを混合し、混合液Mを得る工程A1と、混合液Mと、疎水性有機溶媒とを混合し混合液Sとした後、混合液Sを有機層と水層とに分離させる工程A2と、有機層を乾燥及び/又はろ過して得られる固形物D中の銅の量を、ICP-AES、ICP-MS、AA、FL-AASからなる群から選択されるいずれかの装置を用いて測定し、固形物Dの銅の量からジチオカルバミン酸系キレート剤の濃度を算出する工程A3a及び/又は水層をろ過して得られる固形物P中の銅の量を、ICP-AES、ICP-MS、AA、FL-AASからなる群から選択されるいずれかの装置を用いて測定し、固形物P中の銅の量からピペラジン系キレート剤の濃度を算出する工程A3bを有する。

【選択図】 図1



本発明の測定方法(A-1)